

## NGO 相談員出張サービス実施報告書

1. 企画名：講演会 「世界の子どもたち」
2. 実施者：特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン 松本謡子
3. 日時：2016年11月22日（火）13:30-15:30
4. 場所：埼玉県上尾市立原市中学校 埼玉県上尾市大字原市 3479
5. 参加者：中学1年生 187名、教員 7名
6. 実施報告：

総合的な学習の授業の一環として「世界の子どもたち」と題して講演を行った。これまでに「世界がもし100人の村だった」ワークショップを実施され、地球規模課題に関心を高めつつある生徒の皆さんへ NGO の視点で情報提供を行い、その後に予定される調べ学習で一人ひとりが自主的に研究テーマを選定できるために、広く世界の子どもたちを取り巻く課題を紹介してほしいとの希望を受けていた。導入では、地球規模課題である水衛生、保健・栄養、教育等の現状についてクイズで紹介し、様々なテーマに目を向けるように導いた。次に、6名のグループに分かれグループごとに3枚の写真を使った「フォトランゲージ」のワークショップを行った。各グループのケースストーリーはアジア、アフリカ、中東等の男の子や女の子の日常生活を映し出しており、児童労働や紛争によって厳しい現状を生活している子どもたちの日常生活を取り上げた。グループの中で写真を見て気が付いたことを付箋に書き出し写真に貼り付け、白紙を使って「マッピング」を行い、全体で共有した。さらにそれぞれのケースストーリーで取り上げた子どもたちの抱える課題を3点に絞り、解決先をグループごとに話し合った後、全体で共有を行った。NGOとして実施している地域開発や緊急人道支援について紹介し、今後の調べ学習の中で積極的に世界に目を向けてほしいと伝えた。

### 7. 所感：

グループワークを通して大変積極的な意見交換が行われた。「フォトランゲージ」や「マッピング」ではこちらが想定していた以上の多くの気づきや発見があり、生徒たちは楽しそうに参加してくれていた。体験型の手法が国際理解の授業の中で有効であると改めて実感した。

### 8. 別添（写真）

左：グループごとに「フォトランゲージ」に取り組み気が付いたことを付箋に書き出した

右：課題と解決策について全体で共有を行った。積極的な発表が多数あった。

